

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道103号 <small>くずはら</small> 葛原バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	秋田県
起終点	自：秋田県鹿角市十和田末広 至：秋田県大館市軽井沢		延長	5.5km		
事業概要	一般国道103号は、青森県青森市を起点とし、秋田県大館市に至る延長137kmの幹線道路であり、十和田八幡平国立公園へのアクセス道路としても重要な路線である。葛原バイパスは、現道の幅員狭小、線形不良区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長5.5kmの2車線道路である。					
H11年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H11年度用地着手	H14年度工事着手			
全体事業費	55億円	事業進捗率	47%	供用済延長	0.7km	
計画交通量	7,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 3.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 27億円/57億円 (事業費：22/52億円) 維持管理費：4.6/5.3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 85億円/85億円 (走行時間短縮便益：81/81億円) 走行費用減少便益：3.0/3.0億円 交通事故減少便益：1.0/1.0億円	基準年 平成20年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における安全かつ円滑な交通の確保（幅員狭小・線形不良箇所の解消） ・ 十和田八幡平国立公園へのアクセス改善による観光振興・観光支援 ・ 地域における安全・安心の確保（第1次緊急輸送道路） <p style="text-align: right;">他11項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道103号改築促進期成同盟会（会長 大館市長）による早期整備要望（最新H20.11.28） ・ 北奥羽開発促進協議会（会長 八戸市長）による早期整備要望（最新H20.10.28） 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・ H17.6.20に旧大館市、田代町、比内町が合併し、大館市となった。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進捗状況：全体の50%進捗、H20末で約47%の供用率 ・ 残事業：改良工や橋梁工を引き続き推進する。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体で約23万m³の新規土が必要であり、その調達のための調整を図っていたが、米代川直轄事業の残土(13万m³)を受け入れることで事業の促進を図る予定である。 					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初からの事業の必要性、重要性に変化はなく、更にコスト管理を徹底して事業を継続及び促進する。 					
事業概要図	<p>The map illustrates the project's location within the Tohoku region of Japan, spanning Akita, Aomori, and Yamagata Prefectures. It shows the route of National Route 103, the Kuzuhara Bypass (5.5km), and the current status of the road (under construction, to be improved, or already used). Key locations include Ohtani, Karaiji, and the junction with National Route 66. The map also indicates the presence of the JR Hanabishi Line and the Tohoku Shinkansen.</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。